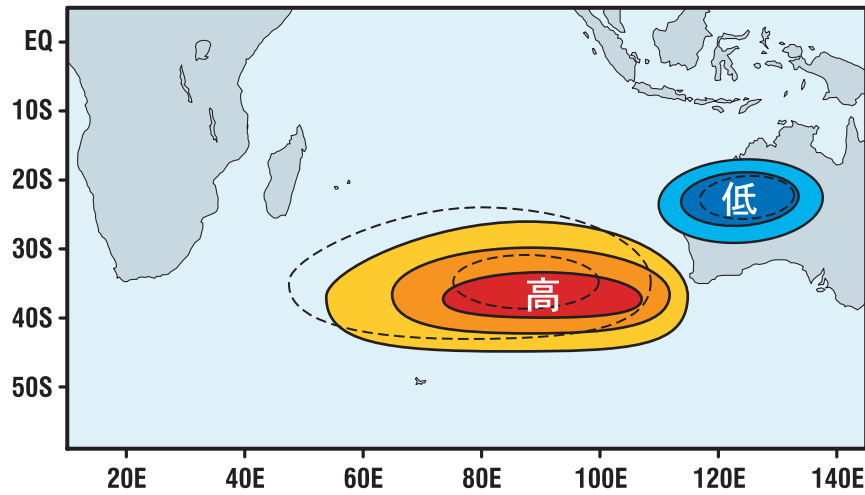
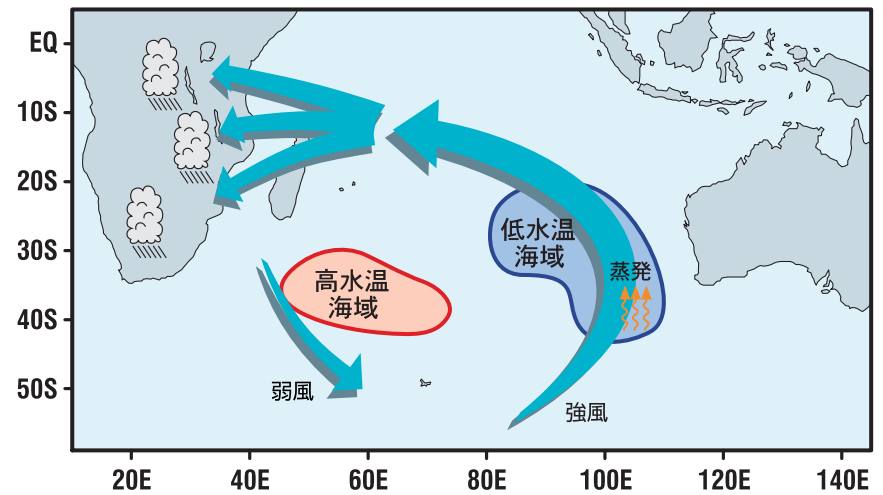


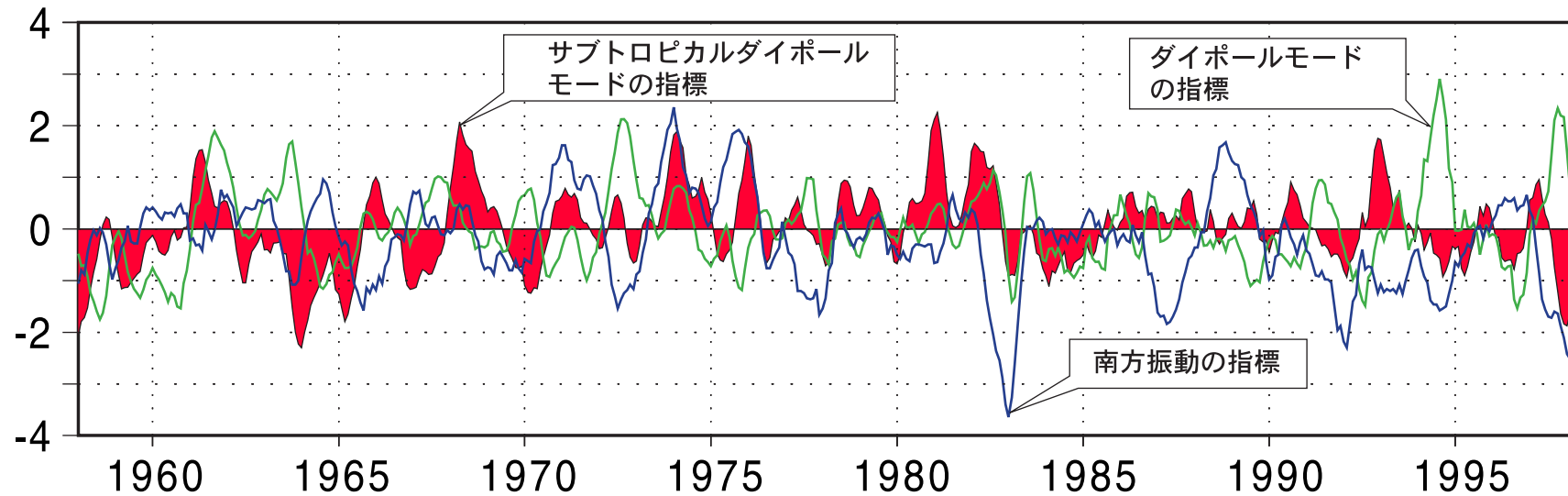
図2. サブトロピカルダイポールモード(SDM)の機構



(a) SDM発生年には南インド洋上の亜熱帯高気圧が平年より南東に移動し、オーストラリア西部の低気圧と接近するため亜熱帯高気圧の北東部において反時計回りの強い風が吹く



(b) 強風の吹く海域では蒸発が盛んとなり、そこで発生した湿った空気は風に乗ってアフリカ中南部に大雨を降らせる



(c) 南方振動、ダイポールモード、および、サブトロピカルダイポールモードの指標
(各指標はピークを迎える年がまちまちであることから、3者は互いに独立した現象であることがわかる)